



新棟の建設について

やっと新型コロナウイルス感染症の脅威も和らぎ、以前の暮らしが一部戻ってきたかのようなこの頃ですが皆様はいかがお過ごしでしょうか。おりしも梅雨の長雨による災害も心配されますが、当院でも一番古い部分は、50年近く前に建てられたものでして、この時期は雨漏りに悩まされております。新しい耐震基準もみたくしていませんので、いつかは起こるであろう大地震についても心配です。新しい医療行為や事務処理に対応するにも手狭なことから、改築することにいたしました。正面玄関を含む鉄筋コンクリート4階（一部5階）の建屋です。この部分で行われている機能（外来診療部・事務部・薬剤部など）を、現在の病棟の北側に新築する建屋と、一部は2階建ての社会復帰棟に移したうえでそれを解体し、機能的な新棟を建設する計画です。しばらくの間、診療業務にご不便をおかけするかもしれません。新しい建物で新しい精神科医療に励めることを夢見て職員一同頑張っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

詳しい工程などは折に触れて本紙「つながり」や当院のホームページなどでご案内申し上げます。
(院長 稲野秀)



新棟の建設に先立ち、本年の4月から5月にかけて、下関市による埋蔵文化財の試掘調査が行われました。千数百年前の人々の生活の遺物が土中から姿を現しています。



試掘調査と同じ頃には、敷地内一部の擁壁工事も行っています。毎日施設内に重機が入り出す一方で、院内の花々は、今年も例年と変わらず、咲きほこっています。
写真左：5月のつつじ
写真右：6月のアガパンサス

病院概要

- ・診療科目 精神科・神経科・児童精神科 ・ベッド数 177床
- ・施設基準 「精神病棟入院基本料 15：1」「児童・思春期精神科入院医療管理料」「精神療養病棟入院料」「療養環境加算」「看護補助加算 30：1」「食事療養Ⅰ（選択メニューあり）」「薬剤管理指導料」「救急医療管理加算」「精神科作業療法」「精神科デイケア・ショートケア」「精神科訪問看護」



春季行事

「五月(さつき)まつり」



「五月まつり」は、長門一ノ宮病院の春の屋外行事です。

10年ほど前のお話になりますが、入院中の患者様方の全体的な高齢化から、それまでの院内行事の一つであった「運動会」の実施が困難になっていました。そのような時に「高齢の方でも取り組める行事を」と企画して行うようになった屋外イベントが「五月まつり」です。当時は、丸々一日を使って、高齢の方でも可能なレクリエーションの実施のほかに、お祭りの出店コーナーも設置して、患者様方に楽しんでもらいました。その頃は、当院の四つの病棟の患者様が、一緒にグラウンドに出られていましたから、なかなか賑やかな行事だったと思います。

令和2年から新型コロナウイルス感染症の問題が発生し、当院の各院内行事も感染対策から必要な変更を行い、「五月まつり」も、各病棟単位で行う小規模なイベントに変えました。今年新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、感染症そのものが消滅したわけではなく、本年も昨年同様に小規模な「五月まつり」を行いました。そのような状況でも、多くの患者様の笑顔が見れて良かったと思っています。今後も感染対策を続けつつ、併せてその時々患者様方の心身の状態を考えた企画を行って、患者様方が引き続き各行事を楽しんでもらえたらと思います。

(作業療法士)

医局体制

診療担当医案内

	月	火	水	木	金	土
午前 受付時間 8:00~12:00 診療時間 9:00~12:30	○	○	○	○	○	児童精神 専門外来
午後 (要予約) 受付時間 13:15~16:00 診療時間 13:45~16:30						予約のみ

午後は主治医とのお話し合いによる来院予約制(受付順)です。
急患においてはこの限りではありませんが、来院の際はお電話での確認をお願いします。

* 専門外来は、完全時間予約制になっております。

受診される場合は、お電話等で予約をお取りの上ご来院ください。

ご予約がない場合は来院されても診察できない場合があります。

* 初診診察医は外来担当医とは異なる場合があります。

・入院ご希望の場合は、事前にお問い合わせの上、できるだけ午前中に来院してください。

午後の遅い場合や空床のない場合は入院できないこともあります。

休診日について

- ・日曜・祝日・盆・年末年始
- ・今年のお盆のお休みは8月14日(月)から8月16日(水)までです。この期間の外来は休診とさせていただきます。急患の際には、まずは電話にてご相談ください。

交通アクセス



◎山陽新幹線・山陽本線ご利用の方
新下関駅下車東出口から徒歩10分

◎バス サンデン交通をご利用の方
農協会館前下車 徒歩3分

広報誌編集後記

新型コロナウイルス感染症も第5類となり、リモート面会を対面式に戻すことができたり、行事が以前のように活発となり、患者様の入院生活が少しずつでも快適になるように努めていきたいと思っています。

病院増築については、増築予定地の遺跡調査にスタッフも吉野ヶ里のブームに乗りわくわくしています。

(看護部 辛島眞治)